



**JR東労組** (東日本旅客鉄道労働組合)  
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
 JR新宿ビル13F 〒151-8512  
 電話 03-3375-5740(代)  
 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子  
 月2回(1日、15日)発行/一部20円  
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

2018年11月16日  
 第688号



JR東労組ホームページは  
 ←こちらからアクセス  
<http://www.jreu.or.jp/>

# 2018年度年末手当 受結

基準内賃金

# 3.18ヶ月

12月4日以降準備出来次第支給

職場の苦労があつてこそその増収！職場のみなさんの支えがあつたからこそ、増収減益の中、昨年同月数の回答を引き出すことができました！これからも組織力を強化し、魅力ある職場を創り出していこう！

JR東労組は第36回定期大会で方針を確認しましたが、18春闘を契機にした組合員の大量脱退に直面し、組織・財政方針を再確立しなければなりません。そのため臨時大会を開催することを決定しました。今後のJR東労組運動を強化するために、臨時大会を成功させましょう！

日時..12月19日(水) 13時~18時  
 場所..藤市民会館ホール

**第37回臨時大会 開催決定!**



## 2018政策フォーラム

**「職場からの挑戦」でJR東労組運動を堂々と推し進めていこう!**

11月11日(12日)に、箱根富士屋ホテルにおいて「2018政策フォーラム」を開催しました。横浜地本の準備委員会は「2018政策フォーラム」を成功させるために職場討議資料を作成し、全組合員で12地本を受け入れていこうと職場議論を積み重ねてきました。来賓としてJR総連 榎本委員長、柳書記長にご参加いただき、全地本、全部会の組合員、約210名が集結し活発な議論が行われ、成功裏に終了しました。

11機関からの提言発表を、「原因究明・技術継承を通じた安全確立」「働きがいある職場の創造と実現」の2つのセッションで議論をおこない、合計40名から発言をいただきました。職場の現実がリアルに出され、要員不足が様々な事故や事象の背後要因に影響していることや、原因究明より責任追及に会社姿勢が変わってきていること、施策を担う現場の声は施策のあるべき姿と乖離していることが明確になりました。そして、職場活動、検証運動を仲間と共にくり出して業務課題を乗り越え、組織強化・拡大につなげていくことが多く語られました。

「変革2027」「グループ安全計画2023」が策定されましたが、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を掲げ、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を基礎として、原因究明委員会の取り組みを強化し会社と向き合っていくかなければなりません。労働組合として会社に対するチェック機能を発揮し、職場の声から、安全で安心して働ける職場を創り出していくこと、「職場からの挑戦」で12地本一体となって提言実現に向けて前進していくこと、組織強化・拡大を推し進めていくことを確認しました。

「2018政策フォーラム」の成功を糧に、職場からのたたかいは基礎に、政策提言の実現に向けて全組合員で前進していきましょう!

(2、3面に続く)



第1セッション司会  
 秋田地本  
 藤村政策部長



第2セッション司会  
 八王子地本  
 鶴飼業務担当部長



アピールを元気に読  
 み上げる 横浜地本  
 岡本青年部長



第1セッション 発表機関の代表者のみなさんと座長(長谷業務担当部長)



第2セッション 発表機関の代表者のみなさんと座長(佐藤組織研修担当部長)

**第1セッション：原因究明・技術継承を通じた安全確立**

- 検修職場の将来を見据えた人材育成「最後の若は、人である」【横浜地本：鎌倉車両センター分会・国府津車両センター分会合同】
- ホーム上の安全は俺たちが守る～part3【営業部会：輸送分科会】
- 常磐道多重追突事故における事故原因究明委員会について【水戸地本：JRバス土浦分会】
- 恵比寿駅白杖挟まり発生!!原因究明委員会報告【大宮地本：大宮車掌区分会】
- 本人の証言をもとに原因究明し、鉄道員としてあるべき姿を、ヒューマンファクターの観点から追究し対策を提起する【仙台地本：左沢線営業所分会】(国際鉄道安全会議での提言)

**第2セッション：働きがいある職場の創造と実現**

- ワンマン列車のサービス向上を目指して【秋田地本：運輸車両部会】
- より良い地域ローカル線を残すために【仙台地本：郡山支部】
- 「社員満足度NO.1」の鉄道会社を目指して～手当等の新設・改善による労働条件向上～【千葉地本：工務部会・津田沼支部合同】
- 東京駅バス乗り場路面陥没問題【東京地本：バスセンター分会】
- 変革2027に挑む【八王子地本：営業プロジェクト】
- 担務・作業ダイヤを見直し、営業職場の適正要員配置を考える【盛岡地本：青森駅連合分会・大湊駅連合分会合同】



▲横断幕を準備して出迎えをしていただいた横浜地本各支部のみなさん

◀横浜地本準備委員会のみなさん